

南山城

議会だより



No.133

2021.11.1

南山城村議会



9月定例会

2P 補正予算

過疎地域持続的発展計画不十分ながらも…

4P 決算報告

コロナワクチン 集団接種から個別接種に

6P 条例改正

令和2年度 決算認定を審議

9P 一般質問

令和7年までの過疎地域計画策定

15P ここにこの人

村で双子育児に奮闘するお母さん

16P むら北南

高齢者の生きがいの場として

みんなで
カヌー体験

南山城小学校

南 良樹・亜希 さん

シルバー人材センター

不十分ながらも...

9月定例会

② 補正予算

④ 決算報告

⑥ 条例改正・専決処分

⑧ 一部事務組合

⑩ 一般質問・奥森

⑫ 一般質問・鈴木

⑭ 一般質問・木下

⑯ 村北南

コロナワクチン 集団接種から個別接種に

令和3年度第3回定例会は9月7日から30日までの会期で開催しました。

議案は、承認(1件)、条例改正(1件)、計画策定(2件)、補正予算(7件)、決算(6件)、発議(2件)、請願(1件)で、同意案件及び条例改正計画策定は、8日の本会議で審議を行い、全員賛成で可決。

補正予算と令和2年度決算認定を予算決算常任委員会(久保委員長)に付託して14・15日に審議し、全員賛成で可決・認定。

24日の本会議で、委員長報告の後、採決に移り全員賛成で可決しました。発議と請願も全員賛成で採択されました。7日には、6人の議員が一般質問で村政を問いました。

予算決算常任委員会

令和3年度

補正

予算

算

一般会計 (第5号)

補正額(増)

3234万円

補正後 歳入歳出総額

27億 516万円

質疑・応答

Q 令和5年度から地方

公務員の定年65歳まで延長になるが、給与などはどうか。

A 給与は60歳時の70%、課長職は退く。再任用と定年延長は本人が選択。

Q 旧自然の家は避難場所に指定されているが、売却した場合、代替施設はあるのか。

A 避難所は複数あり、特に問題はない。

一般会計 (第6号)

補正額(増)

1049万円

補正後 歳入歳出総額

27億 1565万円

質疑・応答

Q 道の駅ガラス修繕費をなぜ村が持つのか。責任分界点をもっと明確にすべき。

A ガラスが割れた理由を調査したが特定できず、不可抗力によると認定した。今後は責任分界点をもっと明確にしていく。

可決 全員賛成

Q 災害規模に対して、調査・設計費が高すぎる。

A 現場は軟弱な地層で

可決 全員賛成

あることが想定され、ボーリング調査が必要との急遽の判断による。削減の努力をする。



被災した大河原島ヶ原線(今山)

過疎地域持続的発展計画

令和3年度 一般会計補正（第5号・6号） 主な概要 補正額 4283万円

・議会費	△214万円	※人件費の更正
・地方公務員定年延長に伴う例規整備	176万円	※65歳定年 令和5年4月1日施行
・社会福祉協議会補助事業	287万円	※新型コロナウイルス感染症対策環境整備
・総合グラウンド進入路整備	131万円	※総合グラウンド進入路整備
・自然の家管理事業	100万円	※維持管理費
・道の駅管理事業	26万円	※ガラス破損
・電算管理事業	606万円	※新型コロナウイルスワクチン健康管理システム
・保育所運営事業	39万円	※給湯器2台更新
・茶業振興対策事業	1058万円	※研修製茶工場機械修理・被覆棚設置
・農道整備事業	223万円	※長谷水路・六十刈用水路・牛場水路
・公共土木施設災害復旧事業	850万円	※大河原多羅尾線路肩復旧・浅子川護岸復旧
	763万円	※大河原島ヶ原線測量設計（今山）

国民健康保険特別会計 （第1号）

補正額（増）

補正後 歳入歳出総額
4億4209万円

・保険料の歳入補正並びに前年度繰越金を計上。

質問・答弁

Q 税収の減額は所得減によるものか。

A 分析はまだであるが、所得減によるものと思われる。

可決 全員賛成

簡易水道特別会計 （第2号）

補正額（増）200万円
補正後 歳入歳出総額
2億2499万円

・月ヶ瀬浄水場取水ポンプ更新費用など。

質問・答弁

Q コロナの影響による

水道料金支払い猶予はあったか。
A 1件発生している。

可決 全員賛成

介護保険特別会計 （第1号）

補正額（増）

補正後 歳入歳出総額
4億5533万円

・保険料の歳入補正並びに前年度繰越金を計上。

質問・答弁

Q 繰越金3123万円の内訳は。

A コロナの影響により、2年度に予定していたサービス事業が中止となったためなど。

可決 全員賛成

高度情報ネットワーク特別会計 （第2号）

補正額（増）431万円
補正後 歳入歳出総額
1066万円

・前年度繰越金を計上。

3年度に事業終結の整理を進めていく。

質問・答弁

Q KCNと契約しなかった方のテレビ視聴はどうなっているのか。

A 村で設備を撤去したのでテレビは見られない。

可決 全員賛成

後期高齢者医療特別会計 （第1号）

補正額（減）55万円
補正後 歳入歳出総額
6458万円

・保険料の歳入補正並びに前年度繰越金を計上。

可決 全員賛成

議会報告会の中止のお知らせ

村議会報告会の開催は、昨年度に引き続き中止いたします。

令和
2年度

決

算

報

告

審議内容

一般会計
(認定第1号)

収入済額

30億1525万円

支出済額

29億4239万円

歳入歳出差引残額

7286万円

※3年度への繰越額

1億7975万円

【歳入】

質問・答弁

【村税】

Q 村税の未済額は1280万円。コロナによる納税猶予の対象はどれくらいあるのか。

A 猶予対象者は事業者3社で360万円。個人は1件。

3年度に入る予定にな

っている。

【歳出】

質問・答弁

【総務費】

Q 村長交際費4万2千円は意外と少ないのでは。

A ふるさと納税、小児科医院開設等に使っており、最小に努めている。

Q 報償費で毎月5万円支出しているが、何か。

A 現在も継続中か、又、出勤の記録はあるのか。

A 警察の出勤を願うまでもないような事案に対する防犯対策に必要で、3年度は日額の支払いを検討している。

Q ドローン講習費として22万円の支払いは何か。

A ドローンの施設調査

には1件6万円が必要。職員3人が資格を取り、村の49施設の内、ドローンが必要な36施設の調査を行った。

Q 大河原、月ヶ瀬両駅での切符・清掃などの委託事業は「イコカ」で売り上げが落ちている。

A 村の雇用は続けるのか。便利さ・清掃を含めて委託を継続していく。

Q 広域バス「マース」のアプリは使いづらいが、どうか。

A 令和3年度より、電話による予約に変えた。

【民生費】

Q 現在の10人の民生委員数は少なくはないのか。地区に対する、配置の考え方はあるのか否か。

A 定数は決められており、問題はない。住民100人に対して一人の定数。

A 月に一度、会議を開催しているが、問題視はされていない。



ドローンで撮影（道の駅周辺）

Q 老人福祉施策の「緊急通報装置」、12世帯と少ないが、どうなのか。

Q 公用車は職員数54人に対し、31台は多い。減らす工夫をすべき。

認定 全員賛成

国民健康保険特別会計
(認定第2号)

収入済額

4億3182万円

支出済額

3億9626万円

歳入歳出差引残額

3556万円

質問・答弁

Q コロナによる納税猶予はどうか。

A 申請は11件され、5件は対象にならず、6件73万6千円余りが対象になっている。

Q 収入未済額842万円は多い。滞納処理は「京都税機構」に送られるが、それぞれは少額で、機構による村の徴収率は最下位の状態である。

A 機構に送る前に、職員の徴収努力をされたい。

A 事前に、丁寧・敏速な対応を目指している。

認定 全員賛成

簡易水道特別会計 (認定第3号)

収入済額

2億2170万円

支出済額

2億1563万円

歳入歳出差引残額

607万円

質問・答弁

Q 滞納は18人、32万円だが、現在はどうか。

A 9月6日現在では、11人、15万円の未納。

Q 使用量が増えたが、原因などどうか。

A コロナ禍で在宅が増えたと思う。詳しい分析はできていない。

認定 全員賛成

介護保険特別会計 (認定第4号)

収入済額

4億5786万円

支出済額

4億2658万円

歳入歳出差引残額

3128万円

〔介護サービス事業〕

収入済額

444万円

支出済額

200万円

質問・答弁

Q 村内独居高齢者を対象にして、緊急通報装置の設置・更新を12台あるが、どうか。

A 現在、村内の対象者は3月末で303人。希望者の12人に貸し出している。

認定 全員賛成

高度情報ネットワーク 特別会計(認定第5号)

収入済額

8536万円

支出済額 8106万円

歳入歳出差引残額

430万円

質問・答弁

Q 未収入金520万円だが、年度を超えて入り、現在の未納金は1万円であることを確認したい。

A その通り。

Q 笠置町に対する負担金は100万円だが、調定は291万円になっているのはなぜか。

A 笠置町の元年度分を含んだ調定となっている。

認定 全員賛成

後期高齢者医療特別会計 (認定第6号)

収入済額 6628万円

支出済額 6384万円

歳入歳出差引残額

244万円

認定 全員賛成

村民の請願書が全会一致で可決

請願

「相楽東部広域バスの利便性向上のため改善を求める請願書」

〔内容〕

本郷地バス停の位置が地域密集地域から離れており不便。

自由乗降やバス停追加など、利用しやすい広域バスに改善してほしい。

可決 全員賛成

意見書

「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源充実を求める意見書」

〔内容〕

コロナ禍の中、地方財政は厳しい状況に直面しており、令和4年度地方財政対策、税制改正に向けた事項を実施すること。

可決 全員賛成

〔内容〕

「沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書」

可決 全員賛成



緊急通報装置（老人福祉電話）



バス停の追加を

令和7年までの過疎地域計画策定

条例改正

南山城村過疎地域持続的発展市町村計画の策定

令和3年～7年の計画

質問・答弁

Q 事業計画の中で、高齢者福祉施設の土地の買戻し計画があるが。

A 城南土地開発公社用地のままが現状では得策と考えている。

Q この計画は重要だ。各課の総意で作成したのか。なぜ、パブリックコメントしなかったのか。

A 総意で実施したが、時間がなかった。

Q 創生総合戦略の「まち・ひと・しごと」を反映した計画を作るべきだ。

A 来年度再度提案する。パブリックコメントも検討したい。

Q 連合の教育委員会を評価する記述があるが、教育委員会は連合しないほうが良いとの声が他町から出ている。村より小さい伊根町でも町にある。村の教育は村で行い、人が戻ってくる教育をするべきだ。

A 教育にはお金がかかる。村一存では決められない。

Q 子育て、高齢者、ジェンダーなどの記述を入れるべきだ。

A 国、府の項目で書き方が決まっている。

Q SDGsの考えにジェンダーの内容もある。

A ジェンダーの内容も深めて行きたい。

可決 全員賛成

高尾・田山・野殿・童仙房辺地に係る公共施設総合整備計画の策定

※令和3年～5年総合整備計画。

質問・答弁

Q 辺地に指定されていない地域にも整備計画は必要ではないか。

A 過疎地域計画に反映していく。

可決 全員賛成

国民健康保険条例の一部を改正する条例

※被保険者が出産したときには世帯主に対し支給している出産育児一時金を次の通り改正。

変更前 40万4000円
変更後 40万8000円

質問・答弁

Q 保険保証料を切り下げた埋め合わせか。



引込柱の電気設備（保育所）

A そうです。合計42万円を維持。独自に村から出産祝い金10万円を出している。

事業費 176万円

可決 全員賛成

質問・答弁

専決処分

「令和3年一般会計補正予算」（第4号）

【目的】

8月の豪雨で保育所前の引込柱の電気設備が故

Q 関西保安協会には加入していないのか。

A 加入している。前回の確認では異常なかった。

可決 全員賛成

※SDGs 持続可能な国際的な17の目標。



夢が広がる わが南山城村

総務厚生

ふるさと納税返礼品は

第5回 7月28日

出席者

企画政策課長
保健医療課長

【内容】

(1)ふるさと納税個人版
体験型返礼品（茶摘み

体験など）の開発。定住自立圏とのコラボの検討。

(2)ふるさと納税企業版

寄付がなかったとしても事業実施に支障が出ないよう考える。実現すれば財源を、「ふるさと納税」



ふるさと納税返礼品の一部

に振り替える。

第6回 8月17日

出席者

保健医療課長

【内容】

(1)ワクチン予防接種状況

集団接種が8月1日をもって完了。未接種者は340名で、追加接種を9月4日と25日に行う。ワクチンの効果は1年ぐらいいわれており、医療従事者は年明けにも3回目の接種が必要。

(2)包括支援システムの進捗状況

ワクチン接種業務に追われ、取り組みが遅れているようだ。介護する健康者が急速に減少していく中で、介護支援システムの充実を図らなければならない。

土木経済

工事箇所を現地調査

第4回 7月27日

出席者

建設環境課長
課長補佐

【内容】

令和3年度に明許繰越した2件の工事についての現地調査。その後庁舎での机上審議を行う。

現地調査

(1)大河原東和束線道路改良工事（法面対策）

現在法面工事（吹付）に入っており、今後、木根除去工事に入る。

Q 請負者はいつ頃からあるのか、どのような工事の経験をしているのか

A 4年ぐらい前から、大河原多羅尾線災害復旧工事の施工をしている。

Q グランド工事者と一緒に業者だが、このような工事ができる業者は何社あるのか。

A 建設業者は11社。



大河原東和束線道路改良工事

一般競争入札で、6社が応札となった。

Q 建設事務所の場所はどこか。

A 奥田に営業所がある。

(2)総合グランド災害復旧業務

最初は3月25日の工期

を7月30日に変更しており、現在精算中であつて約200万円の減額の見込み。

Q グラウンドの排水は

A 表面水は縦排水路で流す。5メートルごとに小段の柵で勢いを落とし流下させる。



職員手づくりで敬老を祝う（社協デイサービス）

京都府後期高齢者医療広域連合

第2回定例会が8月27日に開催
されました。

主な案件は次の通り。

◎令和3年度 補正予算

【一般会計】（第1号）
補正（増） 750万円

補正後 10億5250万円

可決 全員賛成

【特別会計】（第1号）

補正（増） 25億7695万円

補正後 3788億3488万円

可決 全員賛成

◎令和2年度 歳入歳出決算

【一般会計】

歳入決算額 11億 874万円

歳出決算額 10億2419万円

収支差額 8455万円

認定 賛成多数

【特別会計】

歳入決算額 3743億6716万円

歳出決算額 3553億2026万円

収支差額 190億4689万円

認定 賛成多数

◎専決処分
東日本大震災被害者の保険料減免
の、軽減特別制度の廃止。

承認 全員賛成

京都地方税機構

第2回定例会が8月11日に開催さ
れました。

主な案件は次の通り。

◎令和2年度 歳入歳出決算

（一般会計）

歳入予算額 25億9948万円

調定額・収入済額

25億5295万円

支出額 25億5169万円

不用額 4779万円

村負担金 558万円

認定 賛成多数

◎一般質問 3人

①徴収業務のこれまでの評価とコ
ロナ禍をふまえた今後の取組み。



第2回定例議会

②徴収業務のあり方について。
③持続化給付金、時短要請協力金、
緊急小口資金等の差し押え。

相楽東部広域連合

第2回定例会が7月19日に開催
されました。

主な案件は次の通り。

◎令和2年度 一般会計補正予算

（第4号専決）

歳入歳出（減） 9332万円

補正後 9億8535万円

*村負担金（減） 2011万円

*村分担金（減） 785万円

承認 全員賛成

◎令和3年度 一般会計補正予算

（第1号）

補正（増） 2042万円

補正後 8億6013万円

可決 全員賛成

村政を問う

一般質問 Q&A

徳谷

村長

地籍調査の早期着手を

地籍調査率の向上に努める



移設のサル大型檻(高尾)

Q 村は64平方キロの面積で、府有地もあり、環境税に関連して境界の立ち合いも実施している。調査費は交付税処置がされ、村の負担は5パーセントで遂行できる。

A 境界に詳しい人がおられるうちに着手すべきで、今の時期に着手しないと、今後ともできない。

村長 職員と予算の継続が難しい。

一方、公共事業の円滑化、課税の適正化など様々な効果が見込まれる。実施時期を示すことは

一般質問は事務の執行状況、将来の方針などの所信や疑問をただし、政治責任を明確にし、結果として、「現行の政策変更や新規政策を採択」させる効果があります。



徳谷契次 議員

できないが、地籍調査率の向上に努める。

Q 一般質問を提出して、1週間での答弁は難しいと思う。

京都府との調整が必要な案件であるので、時間を設け、再度質問する。

日本サルは全頭捕獲で

Q 一般質問を通じて地域に大型檻が設置されたが、餌付けの捕獲は難しく、檻の場所を移動した。高尾地区では30〜40頭が集団で行動していることから、近隣市町と協力

して、積極的な全頭捕獲に取り組むべきである。

A 村長 村は、10%。メス6頭の捕獲を計画している。

全体捕獲は府の許可が難しい。「追い払い機器」を助成し、地域の協力を得たいと考えている。

Q 花火で脅すために、サルが来るのを一日中待つことはできない。

京都市は平成28年に全頭捕獲を行っている。

必要な調査を行い、全頭捕獲を行うべきである。

A 課長 先の答弁ですが、オスの捕獲上限は設けていません。

AEDの実態はどうか

Q AED（自動体外式徐細動器）の必要性を説き、各地区に配置されて7年経過している。

①適宜管理をしているか。

②場所の公表はどうか。

A 村長 自主防災組織で備え、定期的に消耗品などは交換している。

村のHP、地図情報システムにも反映している。

Q 国道沿いの地区は通行車（者）が多い。設置場所はより分かりやすく。

コロナワクチンの実績は

Q 速やかな対応で多くの人が安心されたと思う。その中で3点を問う。

①接種実績はどうか。

②相楽西部区域では感染者が連日出ている。高校生の検査費用の全部、又は一部を助成し、封じ込めを図るべきではないか。

③抗体カクテルはどうか。

A 村長 ①8月末現在で、人口2571人に対して対象者は2455人、2回済み者は2124人、82・6%となる。

8月初旬で、未接種者340名と2回目未接種者41名を対象にして、9月4日に接種している。

②新たな段階に入る時、PCR検査等是对応する。

③府南部も体制整備が出るものと考えている。

奥森

太陽光発電所工事の資材置き場等の跡地利用は

村長

覚書の変更と、地元区と三者で協議する

村の一般質問の時間は、質問と答弁を合わせて45分間です。
また、村長には議員の質問に対する反問権を付与しています。

Q 跡地利用は、協定書に係る覚書により、グラウンドゴルフ場として整備の上、村に寄付を受ける予定であった。その計画

はなくなったと聞か、その経緯はどうか。

A 村長 「砂防指定地内行為許可」に時間を要し別の場所に資材置き場を確保された。

跡地は村が維持管理していくより、地元区が寄付を受け、多目的広場として活用するほうがよいと考え、地元区の了解も得ている。

今後は、三者協議のうえ、地元区が有効活用の土地として、予定されている。

Q 何か、問題があつて許可が出ないのか。

A 建設環境課長 全体で申請されたが、取り下げ進入道路部分を申請された。進入道路は8月末に許可されている。その他は申請されていない。



奥森由治 議員

三者協議をして、計画が出来た時点で砂防指定地内行為許可申請される。

Q 砂防指定地内行為許可は得にくいと感じる。

ぜひとも三者協議の中で、村として支援するべきではないか。

A 村長 当然支援する。

魅力ある観光コンテンツ創出計画の策定状況は

Q 村観光振興計画が、今年3月に策定された。実施計画の策定状況はどうか。

A 村長 昨年度、観光プロモーション動画を作成し公開している。
ホテルのオープンに合わせ、昆虫採集や椎茸採りなど、宿泊付き体験ツアーとして計画し、販

売を行なっている。

お茶の体験は実施計画としてピックアップは済んでいる。

Q 先の一般質問に、農業の体験、観光農園やアウトドアスポーツを考えていると、答弁しているがどうか。

自然の家を含め東側に

広場がある。有効に活用すべき。

A 村長 キャンプ場として、3社ほど問い合わせがある。現地案内も済んでいる。

Q 計画も必要であるが、まず実践すべきである。

A 村長 積極的に取り組んでいく。



利用計画が変更される用地（奥田）



跡地利用が期待される旧自然の家用地（田山）

一般質問

久保

笹瀬橋の抜本的対策工事は

村長

架け替えを含め府に強く要望中



久保 憲司 議員

Q 府道753号月ヶ瀬今山線の笹瀬橋について、京都府による定期点検で橋梁の一部に亀裂が見つかり、昨年12月から重量制限が行われている。最近、制限が緩和されたが、具体的にはどうな



10.5トン制限の笹瀬橋

Q 抜本的対策工事実施に向けた京都府との協議

A 村長 当初、最大7.5tの制限であったが、京都府による精密調査の結果、8月26日から総重量10・5tまで通行できることが判明した。これによってスクールバスが通れることとなり、通学ルートも元通りとなった。

は、どこまで進展しているのか。

A 村長 先ずは、現状を把握した上で、補修工事を実施すると府より聞いている。

この案件は、平成8～9年ごろに今回の重量制限とは別の観点から「架け替え」案を中心として取り組まれた経緯がある。そうした経過を考慮しながら、京都府建設交通部長・同技監ならびに山城南土木事務所長に対して、修繕のみならず「架け替え」も含めて抜本的対策を早期に決定されるよう強く申し入れている。



府道月ヶ瀬今山線法面の崩壊（田山）

Q 田山ツルギ地区の府道法面崩壊の補修工事は

A 村長 確かに受理し、

速やかに「上申書」として村長名で京都府に提出した。

現在、山城南土木事務所において具体的に進め方を検討して頂いている。過去には、「民地と官地」の境界が不明なために予算化できなかったと聞いており、今回の嘆願書によりこれが明確になることで、事業が進展することを願っている。

鈴木

検査を拡げ陽性者の早期発見を

村長

コロナ発生時に村独自に広げる



社協に届いたPCR検査キット

Q 早期発見のために、ワクチン接種できない保育園・学校、福祉施設職員に定期的なPCR検査をするべきでないか。

A 村長 実施の予定はない。社協では7月から職員に対して月一回のPCR検査をしている。

Q 学校での抗原検査実施時は医師の指導で行う

べき。医師・保健師などのチームで情報共有し、検査から治療に繋げるのが大事では。

A 村長 行政検査の対象者以外にも医師の判断のもとで村独自に枠を広げて検査を実施する。食糧などの生活支援をしている。

Q 枠を広げた検査費用は村の責任で。

A 村長 村独自枠の、PCR検査や抗原検査は無償で行う。

乳幼児健診の充実と高齢者補聴器など補助を

Q 妊産婦及び乳幼児の健康づくりに専門医の診断と相談は欠かせない。新生児の「きこえ」の検査費用の補助をすべきだ。

A 村長 出産時に産科



鈴木かほる 議員

医院では聴覚スクリーニングをしているが、助産院ではしていない。全出生児検査の準備を進めている。

Q 口腔検査と相談活動は。

A 村長 1歳半、3才児検診時に歯科衛生士による歯科指導をしている。今年度から、健診時にフッ化物歯面塗布もしている。塗布は保護者の希望による。

Q 視覚・色覚異常などの早期発見と対応は。

A 村長 保健師や臨床発達心理士による保育園巡回指導で早期発見に努める。

Q 高齢者の健康維持のため、特定検診の集団検



「アーン」仕上げみがき（保育所）

診時に併せて、きこえ・口腔・視力などの相談をできないか。

A 村長 保健師が日常的に相談を受けている。

Q 補聴器・老眼鏡などの購入補助はできないか。

A 村長 現段階では補助は考えていない。

検診結果により個別の訪問指導など行う。受診率は昨年度37・4%で、受診率向上の取り組みが必要と考える。

第9次高齢者福祉計画のHPへの掲載を早く

A 村長 9月末をめどに載せる。

Q まだ村の福祉計画がHPに載っていない。掲載はいつになるのか。

A 村長 9月末をめどに載せる。

一般質問

齋藤

広域バスで村民要望に応えよ

村長

9月度の関係協議会で要望する



齋藤和憲 議員

Q 昨年度、「明日の村を創る」事業で、一つのコンサルタントに総予算の68%（1818万円）を使い、地方創生交付金事業が実施された。

一方、一部地域では盆踊りの中止や高齢者は先

行き不安で村外の子供のところへ行くなど、人口減に拍車をかけている。



住民の足を守る広域バス（本郷）

「今日の村を創る」には予算をもっと充実すべきだ。

①高齢者向けの食事配達を週1回から週2回にすべきだ。

②村の公共交通で自由乗降や乗り場の増加などの要望がある。

村民の要望に応えるべきだ。

③高校生への通学補助を来年度から実施すべき。

A 村長 ①配食食材の負担及び配食回数の見直し等を含め検討する。

②バス停の追加など、可

能なことは検討する。
③高校生へ通学補助は来年度は難しい。

Q 広域バスで地域から請願書も出ている。住民の要望答えるように再度質問する。

A 村長 9月度の関係協議会で要望する。

メガソーラー開発の濁水で木津川も汚れている

Q 全国的に大雨洪水による被害が多発し、熱海市では盛り土崩壊による土石流被害が発生した。共産党議員団は「村内盛り土地域の緊急調査とメガソーラー開発の点検」を要望したが、どうなったか。

①村内での調査状況を確認したい。

②メガソーラー開発業者に砂子田川溪流部盛り土の検討をさせるべきだ。

③雨のたびに殿田川、中谷川に汚濁水が流出している。完全防止対策ができていない。こんな企業に住民の安全安心の工事ができるのか。

A 村長 ①特に危険な箇所はない。

②村から業者に見直し検討依頼はできない。京都府と連携し注視していく。

③汚濁水は開発事業者に対し再三、指摘し、指導している。

Q 特に中谷川の濁水対策は何もできていない。メガ開発で木津川を汚し続けている。指導強化すべきだ。

A 村長 業者に指導を強化する。

コロナ対策はPCR検査も必要だ

Q 国の無策とデルタ株の影響で、全国的に感染者が増大している。

「道の駅」は平日でも他府県の利用者で密状態で、従業員のワクチン接種率は55%だ。従業員の感染防止と全村民を守るためにも、村の補助も含め定期的なPCR検査を実施すべきだ

A 村長 ㈱南山城の責任で実施すべきことだ。



木津川に流れ出す中谷川からの泥水（今山）

保育士の配置基準は守られているか

村 長

配置基準は遵守している

Q 保育所の2歳児は10人で、国の配置基準により2人の保育士が配置されているが、所長は『1人でさせる』と、保護者に説明したとのこと。これは事実なのか、事

実であれば法令違反の可能性があり、こんなことで子どもの安全が守れるのか。事実関係と少子化が進む当村の保育所運営の考えについて問う。

A 村長 保育所長に確認したところ、そのような発言はしていないと聞いている。保育士には、保育業務に携わりながら事務もさせているが、その間は、支障のないよう配慮しながら行っているとも聞いている。

Q 保育所で子供がけがをする事故が起こったが、管理手段や管理体制に問題はなかったのか。その原因、再発防止のための議論と対応、保護

者全員に対する報告と情報共有をどのようにしたのか。

A 村長 事故については事故報告書により報告を受けている。

事故が発生した場合、事故管理マニュアルに基づいて適切な対応をすることとしている。

けがの状態、体調管理が優先であり、速やかに病院へ対応したと聞いている。



木下喜美子 議員

今後の保育所の危機管理をどのように考え、保育所運営をどう考えているのか。

A 村長 保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけし、お詫びしたい。

Q 保育所の緊急の電気工事のため、急遽臨時休園となった。

保護者には2日前の連絡で大変困ったとのこと。他の施設での保育など検討されなかったのか。

A 村長 保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけし、お詫びしたい。

休園による保護者への影響、措置について、どのように考えたのか。

A 村長 保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけし、お詫びしたい。



楽しいなあ なが〜いすべり台（梅美台）

Q 保育所の緊急の電気工事のため、急遽臨時休園となった。

村としては、代替施設を部局内で検討したが、保育に適した場所の選定に至らなかったため、家庭保育のご協力をお願いした。

保育所が開設されて以降、このようなことは想定されてなく議論もなかった。

早急に代替施設を検討して、切れ目のない保育の実現に努力する。



みんなで育てよう村の宝（運動会）

南 良樹・亜 希さん

38歳 (田山)



理想のマイホームを (田山)

村で双子育児に奮闘するお母さん

村の建築家と共に自分達で家建て、双子の子育て真っ最中の南さん夫婦にお話を聞きました。
広い庭先で、エネルギーのかたまりのような元気いっぱいの子が迎えてくれました。

2人の出会いは

16歳、高校で出会い結婚は32歳でと決めていたそうです。

夫の良樹さんは屋根葺き職人で、高尾の小西幸雄さんが手掛けた家に魅了されたことをキッカケに、一緒に理想のマイホームを作られた。

「頼まれごととは試されごと」と屋根の仕事だけではなく、人のお役に立てるならできることは何でもしたいと良樹さん。

その後32歳で結婚し、翌年には双子の子どもが私達のもとにきてくれました。

結婚記念日には、2人だけの時間をもち、改善要求やメリットをプレゼンし合って「結婚一年更新契約書」を締結するなど、夫婦でいることを楽しんで

しんでいます。

わが家のスクスク子育て

思いがけない双子の誕生に戸惑いながらも「足ることを知る」を軸にもち、基本(昔)に立ち返っての子育てを心がけているそう。布オムツで埋もれそうな日常も懐かしく愛おしい。

子育てのモットーは、①子どもは親の思うようにならないが、親のようになる。

②ご飯を与え健康であるようにさえすれば、後は世間様が大きくしてくれる。

お父さんは、お風呂と遊びと寝る前の2冊の絵本読み係。

子どもには「したいことをトコトンやらせたい」と、庭で野球・山でクワガタ採り・川で釣りなど自然の中で全力で遊び学ぶ。週末は流し素麺やBQで友達家族も交えて

楽しんでいるそうです。



近所の友だちと流しそうめん

周りの人達への感謝おかげさまで

村の保育園に預けながら正職員として仕事に復帰。仕事と家庭の両立ができるのは周りの人達の助けがあつてこそ。

特に保育料無料・医療費無料など子育て支援が手厚い村であること、信頼できる保育園のサポートに救われているそうです。

子どもを叱り見守ってくださる地域の人達にも感謝している毎日。
立ち上がれないくらいクタクタの日もあるが、家族の寝顔を見るときセツトされる。

今は『子どもの丈夫な器づくりの時期』と亜希さん。

双子の怪獣の育児は、紛らわしくて騒がしくつて、そのことがとっても楽しい!!と笑顔で話してくれました。



団体紹介コーナー No.126

- 2 補正予算
- 4 決算報告
- 6 条例改正・専決処分
- 8 一部事務組合
- 10 一般質問・奥 森
- 12 一般質問・鈴 木
- 14 一般質問・木 下
- 16 村 北 南

高齢者の生きがいの場として

高齢者の生きがいの場として高齢者のみなさんが長年にわたって培われた知識や経験を活かし、地域の活性化に繋げていくことを目的に平成28年に一般社団法人南山城村シルバー人材センターが創設されました。

仕事に高い評価

この事業は、会員に短期的・臨時的に軽易な仕事を提供し、時間などに束縛されなく、気軽に就業できるため、会員から好評を得ています。

会員・仕事を募集中

現在、60歳から90歳の方々119人の会員が村内で活動されています。

生涯現役を目指す高齢者が元気で活躍できる環境づくりに職員と会員が一体となり、地域の福祉に貢献できる団体として取り組んで行きます。

人々と交流・社会貢献の場を提供

女性の方も多く、チラシ折込み、簡単な清掃など、楽しい雰囲気の中で作業が行われています。



広報紙の仕分け作業

シルバー事業は仕事を通じ、健康の維持、人と人との交流・新しい知識や発見、社会参加など、高齢者が働くことで、地域に貢献しています。

また、社会を支え、互いに助け合いなど、地域の活性化に寄与できる役割を持っています。

長寿社会を迎えた現在、自らの特技を生かして働

また、仕事のご依頼はシルバー人材センターへ連絡いただければ、現場へお伺いたします。

シルバー人材センターが請け負う主な仕事

- 伐採・除草
- チラシ、ビラ配布
- 植木等の剪定



南山城小学校土手の除草作業

- 荷造り
 - 屋内外清掃
 - 被服の修繕
 - 障子、網戸張替
 - ペンキ塗り
 - 農作業
 - 施設管理
- ※これ以外にもご相談に応じます。

働く意欲のある方の入会をお待ちしております

【事務所】

月ヶ瀬ニュータウン
旧保育園内

【電話】

0743(93)3005

一般社団法人南山城村
シルバー人材センター

議会だよりへのご意見・ご要望は議会事務局
☎0743-93-0121
または d_gikai@vill.minamiyamashiro.lg.jp まで
「議会だより」は村のホームページでもご覧いただけます。
南山城村役場ホームページアドレス
<http://www.vill.minamiyamashiro.lg.jp>

南山城村 議会だより

12月議会日程表 (予定)	
12月 3日(金)	一般質問
7日(火)	議案審議
14日(火)	予算決算常任委員会
15日(水)	〃
21日(火)	議案審議
24日(金)	会期末
※ 傍聴は12席の予定	

〔表紙〕
6年生、自然の中、暑さ
忘れてパドルこぐ。
撮影日 9月10日
(木津川にて)